

「環境」に関する論述試験 正解・解答例

1

問1

(解答例)

環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、政府が環境基本法に基づいて定める計画である。(50字)

(採点基準)

すべての語句を用いて適切に説明されていること。

問2

(解答例)

食料生産や都市化などの人間活動が主因となり、広大な自然が急速に破壊された。その結果、今までに比べて種の絶滅速度が速く、また多くの野生生物が絶滅の危機にさらされている。(83字)

(採点基準)

気候変動や生物多様性の損失、窒素・リンの流出などの具体例が一つ挙げられ、適切に説明されていること。

問3

(解答例)

地球温暖化の原因となる二酸化炭素が燃焼によって排出される化石燃料の使用を抑制し、太陽光やバイオマスなど、地上資源の代表格である再生可能エネルギーの利用を拡大する。また、廃棄された電子機器や家電製品などには、レアメタルなどの有用な金属資源が含まれる。都市鉱山と呼ばれることもあるこれらの使用済み工業製品から有用な金属資源を回収し、再利用することで、新たに採掘される天然資源量を抑制する。(192字)

(採点基準)

再生可能エネルギーや“都市鉱山”の活用などについて、適切に説明されていること。

「環境」に関する論述 正解・解答例

2

問 1

(解答例)

コンパクトシティとは、人口減少・高齢化が進む中、住宅や商業施設、公共施設などを都市の中心部に集約し、地域公共交通と連携して、効率的で持続可能なまちを目指す集約型の都市構造のことである。(92 字)

(採点基準)

- ・施設の集約，公共交通との連携，集約型の都市構造といった説明がされている。

問 2

(解答例)

コンパクトシティ政策により、商業施設、公共施設などを都市の中心部に集約することで、移動距離が短くなり、自動車等による CO₂排出の削減が期待される。公共交通の利用により、高齢者などの交通弱者が移動しやすくなることが期待される。また、道路や上下水道といった都市施設の効率的な整備が期待される。(141 字)

(採点基準)

- ・例えば以下のような 3 つの観点から説明されている。
- ・環境：CO₂の削減
- ・交通：公共交通の利用促進，交通渋滞の解消，移動しやすさの向上
- ・社会：都市施設整備の効率化，人口減少への対応

問 3

(解答例)

コンパクトシティの実現には、郊外の開発を規制し、都市の中心部へ施設を集約する土地利用を見直すための住民理解を得ることが課題となる。また、施設の集約、公共交通の整備や維持にかかる費用も課題である。(97 字)

(採点基準)

- ・例えば以下のような 2 つの観点から説明されている。
- ・住民の理解，合意形成
- ・公共交通の整備